



学校だより1月号



西之表市立
安納小学校
〒 891-3102
TEL 0997-25-0663
令和4年1月21日第9号

児童数 12名 (1月21日現在)

学年	1	2	3	4	5	6
人数	0	2	1	6	2	1

(ブログ)
<http://www.nishinoomote.jp.org/anno/blog/>

～紙すき～

12月22日(水)に5・6年生が紙すきを行いました。前日にサトウキビの搾りかす(バガス)で作った紙の素を使用しました。紙の厚さが均等になるように慎重に紙をすきました。6年生が作った紙は、卒業証書として、卒業の日に渡されます。



地域全体で子供たちを育てる

校長 佐藤 光秀

「お祝い申す おっきやい申すか おっきやい申すか 年頭のごしゅうぎ上げ申す やーこれから申す かどから申す やーこれのごんえは ゆうふくなごんえと みかけそうろう さためし・・・」14日18時より下郷集落の「このみやじょう」があり、学生から高校生まで約20人の子供たちが各家庭を回り、新年のあいさつを行いました。「このみやじょう」は養蚕が盛んだった時代に、蚕の豊作を祝う行事でしたが、現在は家内繁栄、無病息災などを祝う行事として行われ、寒空に響く子供たちの声は、新しい年の本格的な始動を地域に告げているように感じました。このような地域行事が残っている安納校区は地域全体で子供たちを育てていると思います。まだ寒さはこれからが本番ですが、陽の光は少しずつ長くなり春の兆しを感じる時もあります。

令和4年がスタートしました。私にとって、種子島で初めてのお正月でした。1日に元旦祭、10日に破魔祈禱祭が安納神社であり、安納小学校の子供たちの健やかな成長を祈願したところです。破魔祈禱祭では市弓道連盟の方々や種子島中学校弓道部の皆さんが参加し、校区事務所前の弓道場で弓術を奉納しました。凜とした雰囲気の中、これから一年が明るく過ごせるようにと弓が射られる度に祈ることでした。



3学期が始まり、子供たちの元気な声で学校も活気が出てきました。新学期の始まりは、子供たちにとって新たな期待と共に、挑戦への意欲を高めてくれます。そのために、今学期どのような自分でありたいか、それぞれに目標をもたせて取り組ませています。また、新型コロナウイルス感染防止(オミクロン株)、トンガ沖火山噴火による津波等、これから先も未知数なことが多いですが、「自分の命は自分で守る」ために正しい知識と行動ができるように指導していきます。そして何より、「分からないことが分かるようになる」「できなかったことができるようになる」ために、残り2ヶ月余り、学校として本来の役割をしっかりと果たせるよう全力で取り組んで参ります。



～校内美化活動～

1月8日(土)に校内の美化活動を行いました。5・6年生は門松の片づけと擁壁下の歩道を、3・4年生は体育館から道路に向けての坂道を、2年生は遊びの森を中心に掃除を行いました。みんな一生懸命に時間いっぱい取り組んでくれて、学校周辺がとてもきれいになりました。



～なわとび大会～

1月14日(金)は、なわとび大会でした。3学期が始まって1週間での開催でしたが、冬休みも練習を頑張っていたので、みんなとても良い記録を出していました。最後は、赤白対抗の長縄とびで盛り上がりました。終わった後は、達成感・満足感が伺えるとてもいい表情をしていました。



～5・6年研究授業～

1月17日(月)に5・6年生の研究授業がありました。ICT機器(ロイロノート)を使った学級活動の授業を行いました。課題について自分の考えをロイロノートに書き出し、シンキングツールを使って整理し、まとめました。今年の6月に始めたロイロノートですが、子供たちも操作に慣れて、先生の指示通りにツールを使っていました。



2月の主な行事予定

月	日	曜	行事
2	2	水	PTA 臨時総会
	3	木	安納小山村留学実行委員会
	7	月	持久走大会試走
	9	水	集合学習(5・6年) 新1年生体験入学
	12	土	持久走大会 第3回学校保健委員会
	15	火	薬物乱用防止教室(5・6年)
	16	水	さとうきび収穫(午前)
	17	木	幼保小連絡会
	19	土	さとうすめ・親子レクリエーション
	25	金	6年生を送る会 お別れ遠足

令和3年12月30日 南日本新聞に掲載されました。

喜ぶ言葉をたくさん
安納小5年

ぼくは福岡から「しおさい留学」で安納小に来て、「ありがとう」「がんばったね」「いっしょに遊ぼう」など、友だちからうれしい言葉をたくさん言われました。

「伝える」ということがテーマの授業がありました。友だちや知り合いが喜ぶことは言っても良いが、相手がいやがることは言ってはいけません。絵をかく作

業で言葉の受け取り方が一人一人違うことも学びました。同じ言葉でも言い方が違うと相手の感じ方が違ってくるので、言い方にも気を付けようと思いました。

友だちが喜ぶ言葉をたくさん言いたいんです。友だちが落ち込んでるときは、その子をはげます言葉をかけたいです。学んだことを大切にして、これからの学校や家庭での生活につなげていきます。

(西之表市)

